


農学部研究シーズ2014

所属・職・氏名	農学生命課程・准教授・磯貝 雅道	
紹介する研究シーズ名	ブルーベリー&ラズベリーのウイルス診断	
キーワード	ブルーベリー、ラズベリー、ウイルス	

シーズの「売り」は！！

ウイルス病に感染した樹を治すことはできません。そして、放置するとウイルスが伝染して病気が広がってしまいます。母樹および苗木のウイルス診断でウイルスの感染拡大を防ぐことで長期の安定的生産に貢献します。

- ① 世界レベルでブルーベリー&ラズベリーの栽培が急速に拡大しています。
- ② 海外では、ブルーベリー&ラズベリーの栽培拡大に伴って、ウイルスによる被害が報告されています。そのためアメリカでは、ウイルス検定済みの母樹および苗木を使用することで国際競争力を維持しています。
- ③ 日本のブルーベリーやラズベリーでも、海外で発生しているウイルスが病気を引き起こしていること、さらに、世界未報告の新種ウイルスが発生していることを突き止めています。
- ④ 今後も海外で発生しているブルーベリーやラズベリーのウイルスが日本で発生する可能性が危惧されます。



【研究シーズの応用例・活用分野・展望】

ブルーベリーおよびラズベリー果実の長期にわたる安定生産が可能となります。

関連特許・関連資料等

磯貝雅道 (2010). Blueberry red ringspot virus の日本における発生. 植物防疫 64, 31-34